

いよいよ2学期が始まります。『MINOR』9月号には「おうちでカフェメニュー」のページに生活科学科3年田中さんと森崎さんの



の考案した「ナスの濃厚つけ麺」と「やしろの桃ジャムとリンゴのタルトタタン」のレシピと実際の料理が掲載されていました。また「エアリアルポ」のページには7月に実施した「テーブルマナー実習」が掲載されていました。本校生活科学科の活動紹介に随分とご協力をいただいている「JAみのり」さんです。今後も地域の食材を活かし、



高校生の目線での料理や商品開発について紹介していただき、地域の良さをPRできるようにしていきたいと考えています。今後ともよろしく願っています。

そして迎えた始業式です。今回も熱中症対策と密を避ける観点から教室にて放送による始業式を行いました。私からの話では1学期末に話した「普通」というものの考え方について集団生



活をするために変わっていく「普通」と普遍的な「普通」を見直そうという話です。マスク着用、黙食、密を避けるなど気を付けることが多く、楽しみが奪われた生活が今、求められています。また加えて自分たちが「普通」に生活するために誰かに協力してもらわなければならないことが多々あり、そういった人への感謝の気持ちや周囲の人への気配りは変わらないものです。今必要とされる「普通」の意味をしっかりと考えて行動してほしいという話もしました。加えて、2024年度から1万円札に描

かれる渋沢栄一さんの「どんなに勉強し、勤勉であってもうまくいかないこともある。これはまだ機が熟していないからであるから、ますます自分を鼓舞して耐えなければならない」という言葉を引用し、自分自身のやってきたことに誇りを持ち、成果を感じられるまで自分で自分を鼓舞し続けようという話で、諦めないで継続することを言いました。今学期は、暑い日から寒い日まで季節の移り変わりを楽しめる時期でもあります。各学年、各部活動でそれぞれの目標も変わってきますが、自分一人で抱え込まずに先生方への相談を通して前を向いて取り組み、成果を感じられる学期にしてほしいという話で締めくくりました。緊急事態宣言下で気を遣うことも多く、行事の変更を余儀なくされることもあろうかと思いますが、今だからできることもたくさんあると思うので、できることを考え、お互いに知恵を出し合ってよい学校生活を送れるようにしたいものです。よろしくお願いします。

緊急事態宣言発出後、部活動について公式戦4週間前からの活動しか認められなくなり、活動休止を余儀なくされた部も出てきました。文化部にも当てはめられ、活動自粛が12日まで続きます。緊急事態宣言が延長されれば、さらにその期間も延びる可能性もあります。現在の感染状況を鑑みると仕方ないのかもわかりません。力の発揮場所がなくならないようにするには、一人ひとりの心がけが大切です。学校に持ち込まない、感染しない、人に感染させないなど高い意識をもって部活動再開に向け、しばらくの辛抱をお願いします。また、感染者が複数名出るとクラスでは学級閉鎖、そういったクラスが複数にまたがると学年閉鎖、複数の学年に発展すると学校全体の臨時休業になります。また、ワクチン接種に関しても公欠で行くことが可能です。副反応が出た場合は出席停止になりますので、いずれの場合も欠席にはなりません。濃厚接触者の特定についても感染が判明した人との接触に関して、2日前にさかのぼっての行動により特定されます。多くは、一緒に食事をとった、一緒にトレーニングや柔軟を行った(マスクなしで)、更衣室で密になった(マスクなし)とかなり限られた場面での接触があった場合に濃厚接触者となり、2週間の自宅待機となります。この濃厚接触者を増やさないことが大切になってきますので、個人の行動が大事、感染防止が大事ということになります。部活動の方は来年に向けた大会、3年生が出場できる最後の大会と様々ですが、目標とする大会であることには違いありませんので、濃厚接触者にならない行動をとると同時に感染防止対策をしっかりとってください。

最後に楽しみにされている体育大会ですが、9月実施は現状の感染状況を考えると難しく、体育大会としての内容も十分にできないことから代替体育行事として内容も考えて10月以降に実施することとしました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。